

# シラバス 数学科

教科名	第1学年 数学科	担当者 中島 彰
-----	----------	----------

## 【学習到達目標】

- ◆基礎的・基本的な内容を確実に習得できるようにする。
- ◆主体的・対話的で深い学びの実現。
- ◆数学的活動を通して学んだことを深めたり、多様な考えに基づいて考察したりする発展的な考え方が育成できるようにする。
- ◆生活や学習への活用場面の充実を図る。
- ◆探究的な学習活動に意欲的に取り組むようにする。

## 【学習方法やポイント】

- ◆授業に集中して取り組み、計算の途中式などを具体的に書くようにしましょう。
- ◆ノートは、しっかりと丁寧に記入しましょう。
- ◆公式等は暗記するのではなく、なぜそうなるのかを理解し、説明できるようにしましょう。
- ◆分からない問題などは、休み時間や放課後の時間を使って、積極的に質問しましょう。

## 【年間学習計画表】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	1章 正の数と負の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正の数と負の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある負の数や反対の性質を持つ量の表し方に興味・関心を持つ。</li> <li>・いろいろな数量を正負の数を用いて表そうとする。</li> <li>・反対の性質を持つ量について、正負の数を使って表すことができる。</li> <li>・正負の数の加減、乗除をそれぞれ統一的にとらえることができる。</li> <li>・正負の数の基本的な四則計算ができる。</li> <li>・自然数を素数の積として表すことができる。</li> <li>・いろいろな数量やその関係を文字を用いて表そうとする。</li> <li>・数量やその関係が一般的に表現できる。</li> <li>・文字式の計算を積極的に活用する。</li> <li>・文字式を用いて表したり読み取ったりする。</li> <li>・数量の等しい関係を等式で表すことができる。</li> <li>・等式の性質を利用し、1元1次方程式を手際よく解こうとする。</li> <li>・方程式を利用して問題が解決できることを知る。</li> </ul>
	2章 文字と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法、減法、乗法、除法</li> <li>・正の数と負の数の活用</li> <li>・文字と式</li> </ul>	
	3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次式の計算</li> <li>・文字式の活用</li> <li>・方程式</li> </ul>	
2 学期	3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式</li> <li>・方程式の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の性質を利用し、1元1次方程式を手際よく解こうとする。</li> <li>・方程式を利用して問題が解決できることを知る。</li> <li>・移項や方程式の解を手際よく求める方法を見いだす。</li> <li>・方程式を利用して問題が解決できることを知り、そのよさを認める。</li> </ul>

2 学 期	4章 比例と反比例          5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数</li> <li>・比例</li>   <li>・反比例</li>   <li>・比例と反比例の活用</li>   <li>・基本の図形</li> <li>・図形の移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比の意味や比例式の意味を理解する。</li> <li>・関数の意味や用語について理解する。</li> <li>・身近な事象の中から比例の関係にある事象を見つけ出そうとする。</li> <li>・座標平面上に表された点の座標を読んだり、表したりすることができる。</li> <li>・2つの数量関係を、式やグラフに表すことよさを認める。</li> <li>・座標、比例のグラフを理解し、活用し、変化の様子を調べることができる。</li> <li>・反比例の特徴について進んで調べようとする。またその関係を式で表すことができる。</li> <li>・反比例の関係を理解し、表・式・グラフを活用し特徴を総合的に考察する。</li> <li>・比例・反比例を利用して問題を解くことができる。</li> <li>・線分・距離・角・平行について理解する。</li> <li>・平行移動・回転移動・対称移動について理解する。</li> </ul>
3 学 期	5章 平面図形       6章 空間図形   7章 資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の図形</li> <li>・図形の移動</li>   <li>・基本の作図</li>   <li>・おうぎ形</li>   <li>・空間図形の観察</li>   <li>・空間図形の計量</li> <li>・データの分析</li>   <li>・確率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線分・距離・角・平行について理解する。</li> <li>・平行移動・回転移動・対称移動について理解する。</li> <li>・定規とコンパスを用いて、いろいろな作図ができる。</li> <li>・円の弧、弦、接線、接点、中心角などについて理解する。</li> <li>・円周、円の面積、おうぎ形の弧の長さ、おうぎ形の面積、中心角の求め方を理解する。</li>   <li>・多面体や正多面体、柱体、錐体の特徴を理解する。</li> <li>・空間図形に関わる計算を理解し活用できる。</li> <li>・資料のいろいろな見方や整理のしかたについて興味・関心を持つ。</li> <li>・ヒストグラムや累積度数の意味や用語を知りグラフに表すことができる。</li> <li>・代表値を理解し活用できるようにする。</li> <li>・資料の活用法を使って、問題を解くことができる。</li> <li>・ことからの起こりやすさを累積度数や累積相対度数を用いて表すことができる。</li> </ul>

### 【評価について】

#### ●知識・技能

各単元において、基礎的な用語や解き方を理解し、用いることで問題を解決することができる力で評価します。

(定期テスト・単元テストで評価)

#### ●思考・判断・表現

各単元において、数量の関係や法則を考察する力、数学的な特徴を相互に関連付けて考察する力、傾向を読み取り、判断することができる力で評価します。(定期テスト・単元テストで評価)

#### ●主体的に学習に取り組む態度

数学の楽しさやよさを粘り強く考え、積極的に問題に取り組む態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、発展的な内容にも繰り返し継続的に挑戦できる態度、知識・技能の獲得、思考力・判断力・表現力を身につけるために自ら学習を進めていく態度で評価します。(授業への取り組み方、提出物、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目で評価)